

News

IT活用セミナー/第254回産学官イブニング研究交流会（併催）を開催します

IT・IoT等の技術革新や経営環境の変化に対応するため、企業の経営者、管理職、技術者などを対象としたセミナーを開催します。今回は、講師にデジタルラボ一関 荒牧様をお迎えし、一関市内のDXに関する現状や課題について、事例紹介を交えお話しいただきます。“まちのIT屋さん”として、ITリテラシーの向上や、業務効率化へ向けたDX推進支援を実際に行っている現場の声が聞ける貴重な機会です。是非皆様ご参加下さい。

講演の部

講師 一般社団法人デジタルラボ一関 エンジニア 荒牧健斗 様

演題 「IT活用セミナー ～一関市内のDXに関する現状とその課題～」

- ・ 日時 令和6年12月18日（水）
- ・ 会場 **ベリーノホテル一関**
- ・ 受付 16:30
- ・ 講演の部 17:00～18:00
- ・ 交流の部 18:00～19:30

※交流会費：4,000円

詳細は、ホームページをご覧ください

■WEB申込【QRコード】



Topics

第16回地域企業情報ガイダンスを開催しました

令和6年10月19日(土)、一関高専の第一体育館を会場に、学生・生徒、保護者及び教職員などを対象に、製造業を中心とした企業44社によるガイダンスを開催致しました。学生のアンケート結果からは、勤務地は関東圏を希望する学生が多い一方で勤務地にはこだわらない学生が多いことや、就職にあたっては仕事の内容・やりがいを重視する学生の割合が高いことがわかりました。企業様、関係各位の皆さまにはご協力頂きまして、心より感謝申し上げます。



(第16回地域企業情報ガイダンスの様子)

News

第38回品質管理検定合格発表

令和6年9月1日（日）に実施いたしました、第38回品質管理検定の合格発表がありました。一関会場の結果は、右記の一覧表となっております。一関会場受検者には、令和6年10月下旬に試験結果通知書を発送しております。日本規格協会様のHPにもQC検定関連情報が掲載されておりますので、ご参照ください。

第38回品質管理検定の合格率

	1級	2級	3級	4級
受検者数(一関)	2名	28名	148名	53名
合格者数(一関)	0名	4名	71名	46名
合格率%(一関)	0	14.3	48.0	86.8
合格率%(全国)	9.38	28.90	53.57	85.25

12月は

第3水曜日が・・・
イブニングの日

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加頂けますようお願いいたします。

★『IT活用セミナー/第254回産学官イブニング研究交流会（併催）』へのご案内

日時 令和6年12月18日（水） 受付16:30
場所 ベリーノホテル一関
講演の部 17:00～18:00
講師 一般社団法人 デジタルラボ一関 荒牧健斗 様
演題 IT活用セミナー
～一関市内のDXに関する現状とその課題～
交流会の部 18:00～19:30



会 場 令和7年1月10日・17日・24日（金）9時～17時

内 容 【1日目】品質の概念、管理の方法、QC的ものの見方・考え方、データの取り方まとめ方、QC7つ道具①
【2日目】品質保証、QC7つ道具②、管理図
【3日目】新QC7つ道具、統計的方法の基礎、過去問演習

会 場 岩手県南技術研究センター（一関市萩荘字高梨南方114-1）

受 講 料 3,000円
※受講料は、初回受講日にご持参ください。
テキストは新レベル表に対応したものとなっております。

申 込 期 限 令和6年12月20日（金）

定 員 各コース15名程度（1社2名までとします。）
* 先着順で定員に達した時点で、締切とさせていただきます。

講 師 小野寺 信一 氏
（Locate QMS/EMSコンサルタント 代表）

持 参 物 筆記用具、電卓、定規（20～30cm程度）

主 催 公益財団法人岩手県南技術研究センター

問 合 せ 公益財団法人岩手県南技術研究センター 担当：今井
E-mail: imaik@sirc.or.jp
電話 0191-24-4688 FAX 0191-24-4689

お申込みはこちらからお願い致します。

●URL <https://forms.gle/UkvqBEpXVvxkD7JF5A>



Topics

化学（ケミストリー）の視点 ★連載版No.17

※今回の担当は、当センター所長の佐藤（腐食防食専門士（公社）腐食防食学会認定）です。

ステンレス鋼はなぜ錆びないの？

ステンレス鋼はなぜ錆びないのか。正確には錆びないのではなく、錆びにくい金属の合金です。鉄(Fe)にクロム(Cr)を溶かしていくと（合金化といいます）Cr量（重さの割合）が約13%を超えてくると、酸化性の硝酸にほとんど溶けなくなります。このことは、ステンレス鋼そのものが溶けないのではなく、実は表面に酸化クロムという不動態皮膜があるためです。この皮膜はきわめて薄い強固で緻密な皮膜で、外部からの水や酸素を遮断して内部を保護しています。この皮膜がないと直ちに腐食してしまいます。ステンレス鋼自体は非常に活性ですぐ酸化してしまいます。その時にこの不動態皮膜が生じるわけです。そのため、表面を傷つけてもこの皮膜が直ちにできるため、耐食性を維持しているわけです。鋼種としてFe-Cr系のSUS410やSUS430があり、さらに塩酸や硫酸にも強くするためニッケル(Ni)も加えた、Fe-Cr-Ni系のSUS304が代表です。

一方で、この皮膜は塩素イオンに弱いため、海水などにさらされるときは注意が必要です。

ところで、機内食のフォークとスプーンを見たら、Fe Cr Sn の刻印がありました。これはSn(錫)を添加して高価なCrやNiの量を減らした省資源フェライト系ステンレス鋼です。

